



会場 市原湖畔美術館 千葉県市原市不入75-1 開館時間 平日10時〜17時、土曜・祝前日9時30分〜19時、日曜・祝日9時30分〜18時 \*最終入館は閉館時間30分前まで 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、2023年12月28日〜2024年1月3日 料金 一般1000(800)円 / 大高生・65歳以上800(600)円 \* ( )内は20名以上の団体料金。\*中学生以下無料・障害者手帳をお持ちの方(または障害者手帳アプリ「ミライロID」提示)とその介添者(1名)は無料 主催 市原湖畔美術館「指定管理者」(株)アートフロントギャラリー 協力 ANOMALY

市原湖畔美術館

2023年10月14日(土) | 2024年1月14日(日)

光の柱

青木野枝

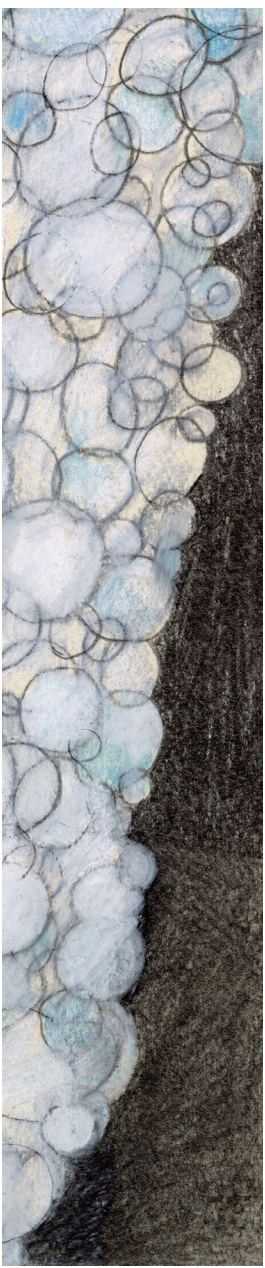
# 光の柱 青木野枝

上昇と下降を繰り返す、動体の光の柱をつくりたい

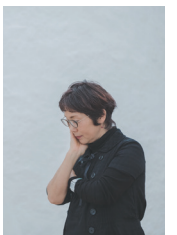
鉄という素材に魅了され、素材本来の硬質感や重量感、さらには彫刻の塊という概念からも解放された作品を創り続けてきた青木野枝。生命やその働きに関心を持ち、とりわけ生命の源である自然を循環する水の姿を表現してきた青木が、湖畔の美術館を舞台に新たな作品を発表します。水や闇や光、そして匂いの粒子やケミカルな粒子たちが、地からのぼり、上方から降り注ぐ……。当館の9メートルの吹き抜け空間に立ち上る光の柱、有機体のような鉄の作品たちが、美術館を包み込む里山の自然と呼応する青木野枝の世界が現出します。



1. 光の柱 / ローイング | 2023年 2. 空の玉 / 寒露溪 | 瀬戸内国際芸術祭2022 | 2022年 3. 曇天 I, II | 長崎県美術館 | 2019年 4. core-1, 3 | 森美術館 | 2022年 5. 立山 / 長崎 | 長崎県美術館 | 2019年 6. Untitled | 長崎県美術館 | 2022年 7. もどる水 / 御岳 | 国立奥多摩美術館 | 2022年 2-7 | Photo by Tadasu Yamamoto



## 青木野枝



1958年東京都生まれ。埼玉県在住。武蔵野美術大学大学院修了。活動当初から鉄板をパーツに溶断し、溶接してつなぎ合わせた彫刻作品を制作。越後妻有・大地の芸術祭、瀬戸内国際芸術祭などの芸術祭では地域の自然や歴史と調和する作品を制作。作品を置く場所や人との交流をライフワークの一つとしている。1997年より版画を継続して出版。毎日芸術賞、中原悌二郎賞受賞、2021年には芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

Photo by Shihai Tomami

### ● ワークショップ

「鉄を考える。鉄でつくる。」  
鉄とは何でしょう。昔の鍛冶屋を訪れ、鉄が人々の生活にどのように生かされてきたかを青木野枝さんと共に考え、鉄を溶断して小さな作品をつくりまわす。

### 【日時】

2023年10月29日(日)

10時から12時半

### 【会場】

多目的ホール

### 【定員】

10名(中学生以上)

### 【参加費】

2000円

※要事前申し込み。お申し込みは美術館HPからお願い致します。※定員に達し次第申し込み受付を終了します。

アクセス	鉄道	車	バス	
<p>東京 車・高速バスで約70分</p> <p>東京湾 JR・小湊鉄道で約2時間</p> <p>ICHIHARA LAKESIDE MUSEUM 市原湖畔美術館</p>	JR内房線 五井駅	東京湾アクアライン	バスターミナル東京八重洲	
	小湊鉄道乗り換え 約40分	川崎浮島JCT 約40分	横浜駅	
	小湊鉄道 高滝駅	圏央道(茂原方面)   館山道	東京 - 勝浦線 11番のりば 約60分	羽田空港
	徒歩 20分	タクシー 5分	横浜駅東口 ターミナル 約80分	羽田空港第1第2 ターミナル 茂原線 約50分
		市原鶴舞IC出口左折   市原IC国道297号線 約5分   約35分	市原鶴舞バスターミナル	
			タクシー 約5分(約3km)	
			市原湖畔美術館	

市原湖畔美術館  
〒290-0554 千葉県市原市不入75-1  
TEL: 0436-98-1525  
E-mail: info@lsm-ichihara.jp  
https://lsm-icahihara.jp/